

令和4度 横浜市学力・学習状況調査の結果について

今年4月に、横浜市の小学2年生から6年生を対象に実施された横浜市学力・学習状況調査の結果がまとまりました。この結果を踏まえ、今後の本校としての取組についてご説明します。

なお、今回の調査によって把握できるのは学力・学習状況の一部であり、学校における教育活動の一面に過ぎません。今回の調査結果を受け、お子さん一人ひとりが力をさらに高めていけるように、今後も教育活動を行ってまいります。保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分理解した受け止め方をしていただけるようお願いいたします。

【2年】

	国語 (%)	算数 (%)
末吉小学校 2年	61.6	58.7
横浜市平均	67.3	68.3

【成果】

国語の「第1学年に担当されている漢字を使う」の問題では市平均とほぼ同じである。

算数の「統計」の問題では、グラフに表したり読み取ったりすることができている。

【課題】

国語の「文章の中の重要な語を考えて選び出す」「出来事の順序を捉える」等の思考・判断・表現を問われる問題では、市平均を下回っている。

算数の「数」の問題（10までの数を分解する、数の変化や規則性を見出す）では、市平均を下回っている。

【3年】

	国語 (%)	算数 (%)
末吉小学校 3年	60.9	67.9
横浜市平均	65.6	70.4

【成果】

国語の「片仮名で書く語の種類を知り、使う」等の知識・技能を問われる問題では、市平均を上回っている。

算数の「平面図形」の問題では、市平均を上回っている。

【課題】

国語の「第2学年に担当されている漢字を使う」の問題では市平均を下回っている。

算数の「式」の問題から、日常的に活用することができていないことが分かる。

【4年】

	国語 (%)	社会 (%)	算数 (%)	理科 (%)
末吉小学校 4年	54.9	53.2	62.2	69.9
横浜市平均	60.4	68.2	71.9	79.6

【成果】

国語の「第2学年に担当されている漢字を使う」の問題では市平均を上回っている。

算数の「平面図形」の問題では、市平均を上回っている。

【課題】

社会では、知識・技能、思考・判断・表現を問われる問題ともに市平均を大きく下回っている。

理科では、思考・判断・表現を問われる問題が市平均を大きく下回っている。

【5年】

	国語 (%)	社会 (%)	算数 (%)	理科 (%)
末吉小学校 5年	57.7	57.9	63.9	63.1
横浜市平均	61.0	66.5	69.8	71.9

【成果】

国語の「情報」の「絵や文などから理解したことに基づいて、自分の考えをもつ」力を問われる問題では、市平均を大きく上回っている。

【課題】

社会では、知識・技能を問われる問題が市平均を大きく下回っている。

算数では、知識・技能を問われる問題より、思考・判断・表現を問われる問題の方が市平均を下回っている。

【6年】

	国語 (%)	社会 (%)	算数 (%)	理科 (%)
末吉小学校 6年	53.1	67.6	65.5	59.5
横浜市平均	56.4	75.1	69.2	62.8

【成果】

国語の「和語と漢語の区別について関心をもつ」「第5学年に配当されている漢字を使う」等の知識・技能を問われる問題では、市平均を上回っている。

【課題】

社会では、知識・技能を問われる問題より、思考・判断・表現を問われる問題の方が市平均を下回っている。

【今後に向けて】

- ・学ぶ楽しさを実感しながら、相手の考えを聞いて、自分の考えを深めていくことができるよう、ペア学習やグループ学習など、相互に意見交換を行えるような場面を積極的に取り入れ、自信をもって自己表現することができるようにしていきます。
- ・今年度、学校全体で取り組んでいる算数の授業の研究を他教科の指導にも生かして、子どもたちがより主体的に学習に取り組むことができるようにしていきます。
- ・様々な活動に主体的に取り組んでいくことができるよう支援するとともに、成長を価値付け、自己肯定感を高められるようにしていきます。
- ・基礎的な反復練習を継続して行っていきます。
- ・社会では、体験学習や出前授業を通して、学習した知識と自分の生活を結び付けて考えられるようにしていきます。